



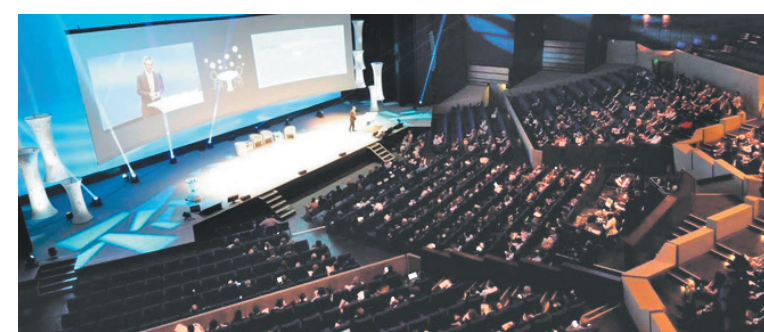
食品安全の未来をひらきます

国際標準に整合した日本発・食品安全マネジメント認証

JFSの活用をおすすめします

JFSはGFSI承認、世界の食品安全に貢献します

日本発の食品安全マネジメント規格及び認証スキームJFS-C^{(*)1}は、GFSI^{(*)2}の承認を取得しています。今年2月に開催された「GFSI世界食品安全会議2019」にもプログラムオーナーとして出席し、グローバルな活動への参加を開始しました。



GFSI世界食品安全会議2019

JFS規格は、「現場からの改善提案の活用」など日本の強みを規格の中に盛り込み、日本の安全管理技術で世界の食品安全に貢献します。

^{(*)1}2019年4月現在、JFS-C EM/セクター（常温保存製品の加工）について承認を取得しています。今後、他のセクターについても順次承認を得る計画です。
^{(*)2}GFSI：「すべての消費者に安全な食品をのびとらと、2000年に食品業界のリーダーたちが、サプライチェーンにおける消費者の信頼を構築するため、特に重要な懸念事項である、食品安全リスクの軽減、連続監査、監査コストなどに対する解決策を協働で見つけるため、設立された団体。（GFSI Webサイトより抜粋）
詳しくは、<https://www.mygfsi.com/jp/about-us-jp/about-gfsi/what-is-gfsi-japanese.html>

JFS活用の輪が広がっています



食品事業者による「JFS活用表明」

●JFSの活用表明

昨年11月に開催された「食の安全・信頼シンポジウム」（農林水産省補助事業）において、JFSM会員である食品事業者38社による「JFSの活用表明」が行われるなど、JFSを活用したフードチェーンの信頼性向上への取り組みの輪が広がっています。

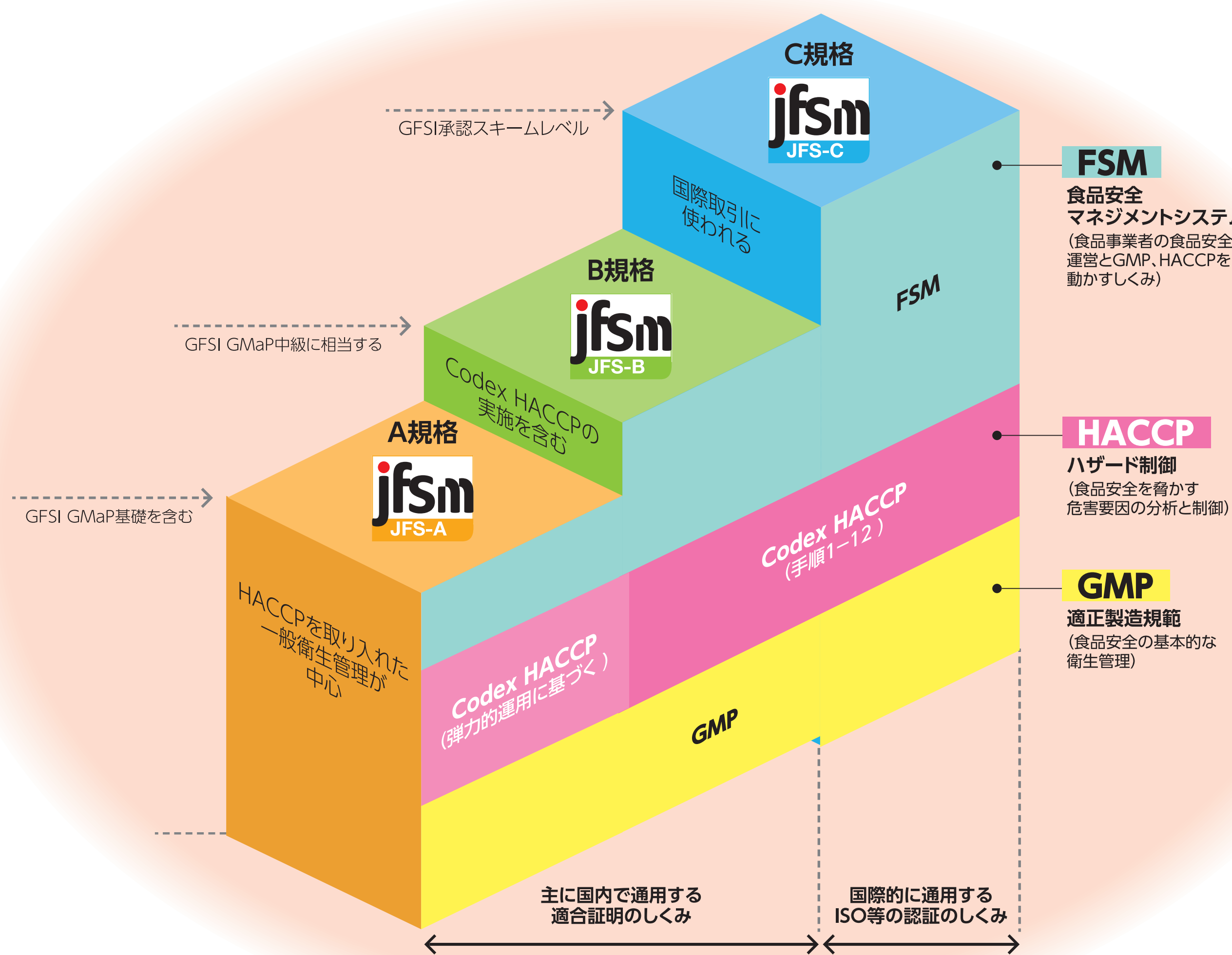
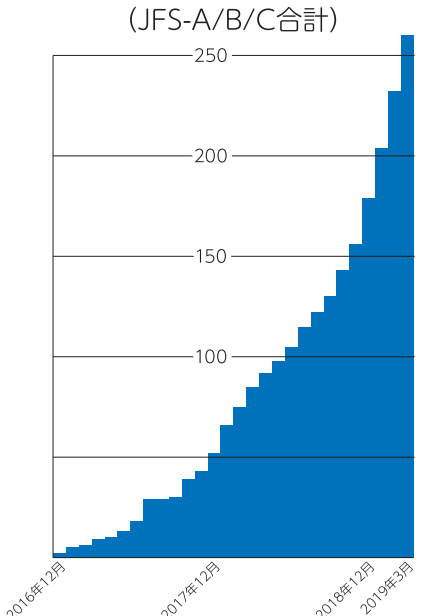
●事業者の声
また、パネルディスカッションでは、小売事業者や製造事業者からJFS活用について積極的な声があがりました。

《小売事業者》：デイリー商品を製造していただく専用工場では早くからHACCPを導入してきました。現在はJFS-B規格を基準にし、お取引先と一緒に取り組んでいます。JFS規格は新しいお取引先を選定する際の評価の一つになると考えています。

《製造事業者》：日本酒や焼酎、甘酒の製造・販売を行う弊社は17年末にJFS-Bの適合証明を甘酒のカテゴリーで取得しました。同じ目標に向かって同じ言語で仕事をするための社内標準ができ、作業ムラが激減したことが最大のメリットです。従業員の衛生管理意識の向上や不良品の未然防止などの効果も実感しています。今後は輸出にも挑戦したいと考えています。

●認証/適合証明取得サイトが急速に増加中です

JFSの認証/適合証明サイトの伸び (JFS-A/B/C合計)



認証/適合証明取得までのSTEP

- ▼ STEP 1 キックオフ
- ▼ STEP 2 マネジメントシステム構築
- ▼ STEP 3 審査/監査、登録

認証/適合証明取得をご検討の方は、JFSMまたは認証機関/監査会社までお気軽にご相談ください。
【JFS-C規格：認証機関/JFS-B/A規格：監査会社】

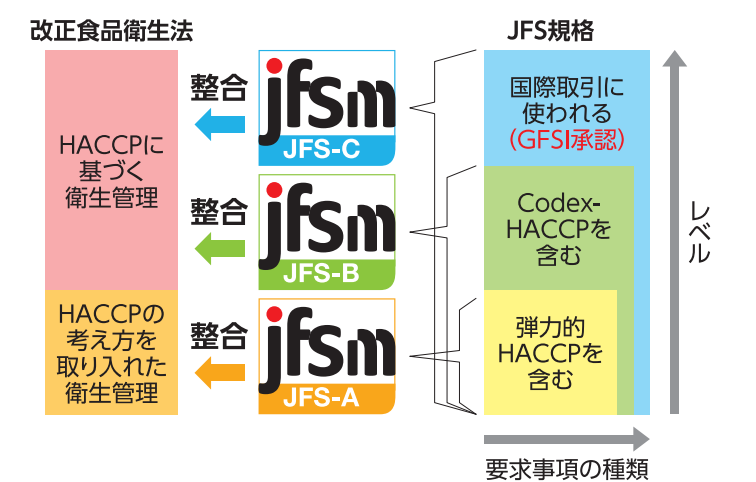
認証機関/監査会社一覧
<https://www.jfsm.or.jp/scheme/accrreditation/index.php>

私たちが一緒に取り組みます！



JFSはHACCPの制度化^{(*)3}にも対応します

JFS規格は、Codex HACCPをベースにしています。JFS-C規格及びJFS-B規格は、Codex HACCPの実行を求めており「HACCPに基づく衛生管理」に対応しています。また、JFS-AはCodex HACCPの弾力的運用を求めており、「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」に対応しています。JFSに取り込むことで、HACCPの構築と、第三者による証明ができ、消費者や取引先へ食品安全の見える化が可能になります。



^{(*)3}食品衛生法等の一部を改正する法律(平成30年6月13日公布)により、原則として、すべての食品等事業者に、一般衛生管理に加え、HACCPに沿った衛生管理の実施を求める(HACCP(ハサップ)に沿った衛生管理が制度化されました。

JFSは取り組みやすい3段階のしくみです



JFS-A/B/C規格は、取り組める段階から始め、レベルアップしていきける3段階のステップアッププログラムです。一般衛生管理を中心にHACCPの弾力的運用を取り入れたJFS-A、Codex HACCPの実行を求めたJFS-B、国際標準を満たしたJFS-Cの三つの規格があります。A規格からB規格、B規格からC規格へとステップアップしている、中小事業者から大企業まで取り組みやすいしくみです。



機械化された製造工場
JFS-C規格 キュービー株式会社 神戸工場(兵庫県)

JFSはつかいやすく、伝統的食品にも活用できます

JFS規格は日本の製造現場や食品を知り尽くした日本の技術者の協力によって開発されました。日頃現場で使用している用語を使い、わかりやすい日本語で作成されており、わかりやすく、現場でも使いやすい規格となっています。また、プログラムオーナーであるJFSMが日本にあり、情報の発信や意見の反映に積極的に取り組んでいます。日本の食文化に根ざした伝統的な食品の安全管理にも、つかいやすい規格です。



伝統的製造工程を活かした製造工場
JFS-B規格 笹木醤油株式会社 本社工場(埼玉県)

JFS-B、JFS-C規格を取得した企業を紹介しています

認証/適合証明事例【企業魂】動画リンク (テレビでも放映されました)
http://www.kigyoudamashii.com/index.php/portfolio_page/jfsm/

